

授 業 計 画

科目名 『人間の尊厳と自立』	講師名 山本 英清	
	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	
対象学科名 介護福祉士学科 1年	授業の方法 講義	<講義日> 火曜日
[授業の内容] (学習全体の内容) *授業の全体像 ・ 人間の尊厳の意義と利用者主体 ・ 人権思想 ・ 社会福祉領域での人権・福祉理念 ・ 利用者の人権や権利侵害、権利擁護 ・ 自立とは ・ 尊厳を守る介護と自立支援		
[到達目標] (どこまでのレベルまでを目標としているか) ・ 人間の尊厳と自立に関わる専門用語がわかる ・ 「人間とは」を説明できる ・ 自立支援の考え方が理解できる		
[検 証] (学生の理解度を確認する方法) 例) 小テストの実施など ・ 振り返り問題、小テストの実施		
[使用テキスト・参考文献] ・ 介護福祉士養成講座 人間の理解	[成績評価の方法・基準] 定期試験 9割 レポート 1割 *評価基準は評価記入用紙による	

回数	授業内容
1	人間の尊厳と利用者主体 ・人間とは 物 → 動物 → 人 → 人間 ・よりよく生きる ・人間の尊厳 「尊厳とは」 ・人間の尊厳と利用者主体 国際障害分類
2	人権思想の潮流とその具現化 ・人権思想の潮流 生存権 社会権 ・人権思想の具現化 基本的人権
3	人権や尊厳に関する日本の諸規定 ・日本国憲法第 13 条 ・日本国憲法第 25 条
4	人権や尊厳に関する日本の諸規定 ・社会福祉法 ・介護保険法、障害者総合支援法
5	社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷 ・エリザベス救貧法 罰することから労働力 ・劣等処遇と道徳的助言 ・貧困の社会性の認識と社会的対応の必要性 ・ケースワークの母 リッチモンド ・戦争が社会福祉に及ぼした影響
6	社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷 ・生存権保障とより人間らしく生きること ・新たな貧困問題・人権問題のなかで
7	社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷 ・ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン ・QOLという考え方 ADLからQOLへ ・生命倫理
8	人権尊重と権利擁護 ・利用者の人権と生活 ・利用者の権利侵害が起こる状況 ・権利侵害の背景 ・権利擁護の視点
9	尊厳を支える介護福祉士とは 各自まとめ発表する ・金魚 ・ひかる君 ・床下のものしりオババ

10	<p>自立のあり方</p> <p>自立の概念の多様性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな視点からみた自立 ・画一的ではない自立 ・ライフサイクルからみた自立
11	<p>自立とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立をするのはだれか ・見える自立と見えない自立 ・自立と自己選択・自己決定、自律 ・自立の基礎となる精神的自立 ・自立とは
12	<p>介護を必要とする人々の自立と自立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護を必要とする人の自立 ・自立のために必要なこと ・自立支援がめざすもの ・自立への意欲と動機づけ
13	<p>介護を必要とする人々の自立と自立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援の考え方 ・自立と依存と選択 ・自立支援と I C F
14	<p>介護を必要とする人の尊厳の保持と自立、自律支援の関係性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尊厳を傷つけ、損なう可能性 ・尊厳を損なう介護とは ・尊厳を守るための介護とは ・尊厳を守る介護の中心にある自立支援
15	<p>定期試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尊厳と自立を介護に活かす